

電気のふるさと

特集

「協働」と「連携」によるまちづくり⑯ ~宮崎県西米良村の交流人口拡大事業~
生涯現役の村民が「平成の桃源郷」づくりに挑戦

■わがまち自慢 ~市長室から~
青森県むつ市

トータルなストーリーとして売り出す戦略と持続可能な地域づくりの一つとして『ジオパーク』活動を行っています。

この活動は、今やユネスコの正式プログラムになっています。世界遺産も正式プログラムですが、その違いで一番大きいことは、世界遺産はモノに着目していることです。つまり、その土地の文化、自然に世界有数の価値があるかどうかと

ところが、ジオパークで焦点を当てているのは活動なのです。そこに生活する人たちが、大地や自然を使って、どういう活動をしているか。それが日本の水準に達していれば、「日本ジオパーク」、世界の水準に達していれば「世界ジオパーク」に認定されるということです。

実は一昨年、認定見送りになってしまいま



短命県の汚名返上そのための 健康増進施策の推進

青森県は、平均寿命が一番短い。

そして、働き盛りの50代の方の死亡率が一番高い。その中でも、むつ市は最悪の状況にありまして、全国の自治体の中で男性がワースト8位、女性がワースト16位という状況です。

喫煙率が高いこと。それから食事で塩分を取りすぎる。更に運動する機会がない。医療費がどんどん嵩んでくると国保会計も一般会計も非常に圧迫されます。病院に行くこともなくともよい体を作ることが大

これが好評で、目標の人数は達成しています。厚労省が出した試算の中では、1日1万歩を2万人が達成すれば、年間1億円の医療費削減に繋がるとされています。

また、我々は1日の内、半分以

したが、今年、再度挑戦します。前回の見送りの大きな原因の一つに、地元の認知度が足りなかつたと認識しています。ですから、ジオパーク認定に向けた住民の活動、企業の活動、お店の人たちの活動をどうやって盛り上げるのか、ということに、大変力を注いでいます。

世界遺産と比べて、どちらが持続可能かというと、実はジオパークの方だと私は思っています。ジオパークの場合は、活動に着目していく、4年に1度、認定が更新されます。すなわち、4年間、保全ができるか、活用がされているか、ということを再審査されるのです。ですから、今まであるモノを再発見して、住民がよいモノを繋いでいく必要があります。これを積極的に推進することは、究極の地域づくりだと思っています。



全国初、「高校生元氣ふるさとアイデア選挙」を実施

上会社にいる訳ですから、企業の人たちにも頑張つてもらおうといふことで『すこやかサポート事業所認定制度』を設けました。

森銀行から、車を買う時などに低利融資を受けられる、そういう仕組みを作りました。

さとアイデア選挙を行つていま
す。選挙権の18歳引き下げ、政
策立案や投票という体験を通して
政治参加の意識を高めてもらおう
というものです。

今回の参政権拡大にどのような
協力ができるか、ということを考え
ると、身の回りのことを変えられる
チャンスがあれば、参加してくれる
のではないかと思ったのです。

高校生を100人集めて、むつ
市の課題とは何かということを考
えてもらいました。人にやらせる
のではなくて、自分たちでできる
選ばれた複数のアイデアは、高
校生がプレゼンし、まちづくり市
民委員や私どもが審査して、最後
にグランプリを決めます。少しでも
予算をつけ、何とか形として
実現しようと思っています。そう
するとまた次に繋がる。これを毎
年のイベントにしようと思つていて
ます。政治参加、つまり自分たち
の力で物事を変えていく、挑戦を
していくことの大切さを実感して、
学んでいただきたいと思つて
おります。

これは、全国初の取組だと自負
しています。（談）

ことを考えてくださいとお願ひする
ると、高校生らしい良いアイデア
が出てきました。



「高校生元気ふるさとアイデア選舉」の投票風景

特集

「協働」と「連携」によるまちづくり^⑯

宮崎県西米良村の交流人口拡大事業

生涯現役の村民が平成の桃源郷「づくりに挑戦



1

「西米良型ワーキングホリデー」で知られる宮崎県西米良村だが、最近、新たな交流人口の拡大施策で注目されている。高齢化率70%を超える集落で、地産地消の農家レストランや宿泊施設を整備し、地域住民全体で運営して成果を上げている「小川作小屋村」事業を紹介する。

一村の将来人口が約750人になるという危機感

宮崎県の西都市中心部から車で約1時間、一つ瀬川に沿った国道219号を熊本県方向に分け入っていくと、急に視界が開け、西米良村の小川という地区に出る。典型的な日本の集落の風景だが、その中で、城郭風の建物がひときわ目立っている。旧米良城主の居城施設などが建ち並んでおり、かつての村の中心地だったところだ。ここが平均72歳のおばちゃんたちを中心に、住民全員が施設を運

営して、全国の注目を集めている西米良村の『平成の桃源郷おがわ作小屋村』である。

西米良村は役場のある村所といふ集落のほか、この小川地区を含めた8つの集落が、一つ瀬川の本流・支流の山あいに点在している。現在の人口は約1,200人、高齢化率は約42%の村となっている。

西米良村の歴史は古い。南北朝の時代に、北朝の圧迫を受けた肥後国菊池氏の子孫が日向国の山中に落ち延び、米良姓に変えて、その一帯を領した。以降、江戸末期



にしめらそん ■西米良村情報■

【人口】1,202人(平成28年1月31日現在)

【面積】271.5km²

【発電所データ】

(株)九州電力 横之口・村所水力発電所、宮崎県企業局 田代八重水力発電所

【本特集問合せ先】

おがわ作小屋村 ☎0983-37-1240 西米良村役場 ☎0983-36-1111



3



4



まで、焼畑農耕で約370年間、

に純朴な暮らしを営んできた。ところが、明治維新で大きな転機を迎える。版籍奉還に際し、最後の領主であつた菊池則忠公（維新後菊池姓に戻す）が、領地のすべてを領民に分け与え、以降、農林業で生計を立ててきた。



最近は全国から観光客が訪れている



村役場のある村所地区



日本最長の木造車道橋『かりこぼうず』大橋

西米良村がその名を全国に知られるようになつたのは、平成10年から始まつた「西米良型ワーキングホリデー制度」や「8つの庄」という、それぞれにテーマ性と物

「作小屋村構想」という新たな交流人口増加策

語性を持たせた村づくりなどであつた。都市との交流を促進すること、彼らの事業で成果を収め、黒木定藏(くろぎ さだぞう)村長は観光庁が認定する「観

め、「作小屋」という仮住居を建て、冠婚葬祭などの行事や盆暮れ以外は、その住居を拠点として農作業に従事した。

のさらなる活性化の『先駆け』となる、という疑惑が

かつては全国有数の木炭の生産地として知られていたが、林業の衰退とともに村の人口は激減していき、昭和20年代には約7,000人いた人口も、平成6年頃の推計で「平成22年には約750人になる」という将来予測が出るほど厳しい状況になつた。

ものであつた。
それに加え、山あいに点在する
集落といふ地勢の中で、訪れる人
を心からもてなすといふ西米良村
の人情、さらには数多く残つてい

メージして整備した「歴史民俗資料館」があり、平成12年から毎年春に『カリコボーズの山菜まつり』というイベントを地域住民総出で開催してお

かつては全国有数の木炭の生産地として知られていたが、林業の衰退とともに村の人口は激減していき、昭和20年代には約7,000人。『りこぼうず』大橋



「8つの庄づくり」の一環として立ち上げた第3セクターの「株式会社米良の庄」は、村が整備した

小屋という伝統的な生活様式を地域資源としてとらえ、地元の食材を使用した農家レストランや宿泊施設を整備・運営しようとする

まだ、この
小川地区には
米良の領主が
住む城館をイ

——「瀬川流域の市町村により合併協議会が立ち上がったが、西米良村の住民は合併反対を表明して「自立」を目指すこととした。そうした村民の「覚悟」を受け、村はさらなる行政改革を行うと同時に、8つの地区の自立に向けた、様々な施策を模索することになった。

その結果、出てきたのが「作小屋構想」であった。

「作小屋」とは、前述した版籍奉還の時に領民に分配した土地に大きくかかる、西米良村特有の生活様式に由来する。菊池氏が領

これらをひとつの立てていくことが計画の基本となつたのだ。

最も重要な事業主体については、村内の8つある地区のうち、最も厳しい状況にあつた小川地区に白羽の矢が立つた。当時、小川地区の人口は約100人、高齢化率は72%で「限界集落」を超えて、「消滅」の危機にあつた。行政としては、こ

A photograph of a traditional Japanese building with a tiled roof and wooden walls, surrounded by autumn foliage and a stone wall.

それに加え、山あいに点在する集落という地勢の中で、訪れる人を心からもてなすという西米良村の人情、さらには数多く残つてゐる古くからの民話などの風土も重要な資源であつた。

メージして整備した「歴史民俗資料館」があり、平成12年から毎年春に『カリコボーズの山菜まつり』というイベントを地域住民総出で開催しており、地域の結束が固かつた。

A photograph showing a group of approximately eight people working on a steep, grassy hillside. They are dressed in casual outdoor clothing like t-shirts, shorts, and hats. Some individuals are using long poles or tools to assist them in navigating the incline. The hillside is covered in sparse vegetation and appears to be undergoing some form of land management or reclamation work. In the background, there are more hills and a clear sky.



米良氏の城館をイメージして整備した「歴史民俗資料館」



植樹祭も毎年開催されている



「温泉施設ゆた～と」



木造平屋のコテージ風宿泊施設「桃源郷の宿」。全12棟ありキッチンも完備している

「彼女たちが口紅をさして嬉々として働いていることがとても嬉しい。高齢化率が高いということは、決してマイナスに考えることではない。長生きする元気な年寄りが多いということは素晴らしいことです」と運営協議会長の上米良秀俊さん（63歳）は語る。

ミリーラン」の部もあり、広野町の冬の風物詩になりつつある。

主催は広野町。運営は総合型地域スポーツクラブNPO法人広野みかんクラブで、広野町におけるスポーツ及び文化の振興を図るために、「子どもから高齢者まで、いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツ及

び文化活動に参加できる環境づくりを目指している。

このクラブは住民と行政の協働により、会員の健康増進、地域コミュニティの促進、青少年の健全育成など、明るく豊かで活力ある地域づくりに寄与することを目的として、様々な活動を展開している。

温泉という資源を活かした「温泉療養保健システム」

大分県竹田市
地図 C

観光ニーズが多様化する中で、「ヘルスツーリズム」が注目されている。これは温泉療法や森林療法、海洋療法など、医学的な根拠に基づく健康回復や維持、増進に繋がる観光を指す、ニュートリーリズムといわれる旅行形態のひとつだ。この他に、医療行為を受けるための手段としてのメディカル・ツーリズムも広い意味でヘルスツーリズムに含まれる。

市内約40ヶ所の施設が対象

市内の観光案内所で発行されるパスポート



市内の観光案内所で発行されるパスポート
ヘルスツーリズム
森林療法
海洋療法
竹田市観光ツアーリンク
宿泊施設や温泉施設の領収証を添付して、6ヶ月以内に竹田市観光ツアーリ

の健全育成など、明るく豊かで活力ある地域づくりに寄与することを目的として、様々な活動を展開している。

の健全育成など、明るく豊かで活力ある地域づくりに寄与することを目的として、様々な活動を展開している。

『聖地巡礼』ツアーガ话题になつていて。

アニメは、2014年で200本以上もTV放映されており、日本が誇る「メディア芸術」の中

には、ただ見るだけでは飽き足らず、作中の舞台となつた地域（いわゆるロケ地）へ訪問する熱心なファンも多く、こうした彼・彼らの行動は、俗に『聖地巡礼』と呼ばれている。

いわゆる「コンテンツ・ツーリズム」は、古くは「ローマの休日」や、日本での大河ドラマのロケ地めぐりなど、新しいものではない。そうしたコンテンツを地域活性化に活用するのは、全国で展開されている事例でもある。ところが、この『聖地巡礼』の中心となるのは多くが若年層で、

まさに『巡礼』となるのだ。アニメ『たまゆら』の舞台になつた広島県竹原市では、市のホームページに、「おすすめ舞台訪問コース」などを紹介しており、作品の一場面と実際の風景を並べて紹介するなど、積極的に『聖地巡礼』の観光客へアピールしている。昨年は「たまゆら町並みお散歩スタンプラリー

ゲリオン新劇場版』とコラボしてITを駆使したスタンプラリーなどを開催している。

広島県竹原市
地図 D

「in竹原」を開催した。このように、アニメの舞台となつた町が、それを地域資源ととらえて、活性化の取組みを行つている事例は最近多くなつて

いる。茨城県大洗町は『ガールズ&パンツァー』関連のイベント開催で知られている。また、神奈川県箱根町では『エヴァンゲリオン新劇場版』とコラボしてITを駆使したスタンプラリーなどを開催している。

アニメの舞台を活用する町の観光振興に活用

度は2泊以上宿泊して、対象の立ち寄り温泉施設を宿泊日数の半数以上利用した場合に適用される。その際の立ち寄り温泉については200円が補助される。

助成を希望する観光客は、市内の観光案内所などで「温泉療養保健パスポート」の発行を受け、スタンプの押印と、宿泊施設や温泉施設の領収証を添付して、6ヶ月以内に竹田市観光ツアーリンク

などで様々な特典が受けられる。官公署・旅行会社・地方自治体などが連携して、ヘルスツーリズムに結びつけた観光資源開発が全国各地で行われているが、この竹田市の取組みは全国初。平成23年の導入時には年間543人だった利用者数は、平成26年度は760人、延べ泊数は3,9



49泊と実績を伸ばしている。連泊者の増加により平日の稼働率も底上げし、地域の経済効果は20倍という調査結果が発表された。竹田市はこの取組みで、NPO法人日本ヘルスツーリズム振興機構の2015年度「第8回ヘルスツーリズム大賞」を受賞している。

ズム協会に申請する。後日指定した銀行口座に振り込まれると、いわゆる「コンテンツ・ツーリズム」だ。

現在、市内の温泉付き宿泊施設は約20ヶ所、立ち寄り温泉施設は約30ヶ所の食事処や体験施設な

マグロに続く特産品

陸マグロ

「陸(おか)マグロ」とは、マグロで有名な大間町で飼育肥育されている黒毛和種の大間牛のことです。

その肉質は大間で水揚げされる本マグロの大トロにも負けない最高等級A5に評価される肉質が出ることもあり、過去には青森県肉用牛枝肉共進会のチャンピオンにもなったことがあります。

函館市からフェリーで90分、北海道新幹線開業で近くなった大間町で、「陸マグロ」を味わってみてください。



町内の「おおま温泉海峡保養センター」で通年提供

DATA

【お問い合わせ】大間町 産業振興課
☎0175-37-2111



青森県肉用牛枝肉共進会で
チャンピオン賞受賞

引き締まった身に旨味が凝縮

遠州一黒シャモ

「遠州一黒シャモ」は、独自の飼育方法で育てられた御前崎産の最高級地鶏です。

一般的な鶏は50～60日程度で出荷されますが、遠州一黒シャモはその倍以上、約160日という長い時間を掛け、大切にじっくりと育てます。また、地元御前崎産の飼料米を主原料とし、独自の微生物飼料も加えているため、甘みの強い美味しい肉に仕上がります。

風通しが良く清潔な飼育環境によりシャモのストレスが軽減され、さらに運動量を適度に制限することで、プリプリとした適度な弾力の肉質となり、噛めば噛むほど旨みが広がります。



高級地鶏
「遠州一黒シャモ」

「食欲解放区・御前崎」では、いろいろなかたちで遠州一黒シャモ料理を提供



おまえざき 静岡県御前崎市 地図 G

DATA

【お問い合わせ】御前崎市 農林水産課
☎0537-85-1125

[一黒シャモ](#)

へしこブランド強化へ「美浜へしこ組合」設立

美浜のへしこ

「へしこ」とは、魚のぬか漬けのことですが、ぬかと塩でのみ漬けた、いわゆる「こぬか漬け」と一線を画し、魚醤に、しょうゆやみりん、酒かすを加え、1年間じっくり発酵させた美浜町の代表的な特産品です。

美浜町が「へしこの町」として商標登録してから10年が経過し、更なる「へしこ」のブランド力向上のため、町内のへしこ生産加工13業者が加盟し、「美浜へしこ組合」を設立しました。今後も、良質な鰯の確保や品質管理、技術力および生産性の向上等を目指します。

「美浜へしこ組合」設立



「美浜へしこ組合」設立

DATA

【お問い合わせ】わかさ東商工会
☎0770-32-0121 FAX 0770-32-5807

「美浜のへしこ」



みはまちょう 福井県美浜町 地図 H



電源地域情報ひろば

特産品開発情報



JAたきかわ 菜の花館の
ホームページでレシピ公開



雪解けとともに始まる滝川の
「雪割りなばな」

たきかわ 北海道滝川市 地図 E

春の訪れと共に 雪割りなばな

菜の花の栽培が盛んな滝川市。3月下旬から、花が開く前に収穫する「雪割りなばな」の収穫が始まります。

「雪割りなばな」は秋にまいた種が雪の下で越冬し、早春雪かきをした畑から伸びてきます。通常のなばなより甘みが強いのが特徴です。

また、滝川市内では、3月下旬から「菜の花ウイーク」(5月下旬～6月上旬開催)までの期間を「菜の花フェスタ」と称して、市内のレストランなどで「なばな」のおもてなしを行われます。



まつえの女子大生が開発!!

美肌県しまねを 代表するお土産

美肌の国キーマカレー

「美肌の国キーマカレー」は、松江市特産の「西条柿」と、「あいかごぼう」を贅沢に使用した、松江のご当地カレーです。

考案したのは、島根県立大学健康栄養学科の学生です。西条柿のフルーティーな甘みとカレーとの相性が抜群。また、柿に含まれるビタミンやゴボウの食物繊維は「美肌成分」の代表格とされています。



柿とゴボウの意外においしい組み合わせ!

島根県松江市
地図①

DATA

【お問合せ】松江市 産業観光部 商工企画課
(まつえ農水商工連携事業推進協議会)
☎0852-55-5978
【URL】<http://www.matsue-renkei.jp/>



四国最西端、 佐田岬半島の「三崎漁協」

岬あじ、岬さば

「岬(はな)あじ、岬(はな)さば」とは、佐田岬漁港に水揚げされた「マアジ、マサバ」のうち、一本釣りで釣った300g以上のマアジ、500g以上のマサバの中から、三崎漁港販売職員が吟味したものです。

「岬(はな)」とは、四国の最西端、日本一細長い佐田岬半島の「岬の先端」を意味する三崎地方の方言です。

三崎漁協で大切に水揚げされた魚介類は、ご当地グルメ「佐田岬海鮮活しゃぶ」にも最適です。



ご当地グルメ、佐田岬海鮮活しゃぶ

愛媛県伊方町
地図②

DATA

【お問合せ】三崎漁業協同組合
☎0894-56-0111
【URL】<http://www.misaki.or.jp>



三重総合高等学校の生徒たちによる販売実習



地元で採れたサツマイモを使用

高校生と地元食品店が共同開発

大分いもレーヌ

「大分いもレーヌ」は大分県立三重総合高等学校の生徒6名が、地元の食品店「いもの力屋」と共同開発したマドレーヌです。材料には市内で収穫された高糖度のサツマイモ「紅はるか(甘太くん)」を使用しています。

「大分いもレーヌ」は現在大変好評で、「いもの力屋」での販売の他、近隣の道の駅や商業施設および全国の高等学校より常時注文を受けており、生徒たちも「地域の活性化」のため、販売実習の際には地域に出向いて、仕入れ、販売を行っています。

DATA

【お問合せ】大分県立三重総合高等学校 ☎0974-22-5500
いもの力屋 ☎0974-22-0168 【URL】<http://kou.oita-ed.jp/miesogo/>



地域情報紹介のフリーペーパー

みちくさうるま

「みちくさうるま」は沖縄県うるま市の地域情報を紹介するフリーペーパーです。市内の店舗紹介、エリア特集、工芸作家特集など、毎回切り口を変えて発行しています。

うるま市には在日米軍キャンプが2つあり、多くの外国人の方が住んでいます。その「英語が必須言語」の方々も地域情報を欲しており、創刊以来「英語版」のリクエストがあったことから、外国人対応が可能な場所を抽出し、外国人仕様に再編集した英語版「Michikusa Uruma」を2015年春に発行しました。



日本タウン誌・フリーペーパー大賞2015
観光庁長官賞 優秀賞受賞!

英語版も発行



掲載のご希望がございましたら、電気のふるさと編集室（☎03-6372-7305
E-mail : furusato@dengen.or.jp）までお知らせください。

掲載費用が発生することはありません。（編集の都合上、掲載できない場合
がございますことを予めご了解願います）



神秘的な世界が広がる「神仙沼」



ニセコエリアの自然のすばらしさを体験できる

雄大なニセコエリアの山歩き 神仙沼山開き

北海道共和町
地図 M

神仙沼は北海道共和町にある高層湿原です。数あるニセコ山系の沼の中で最も美しい沼と称されています。

毎年、6月初めの週末に「神仙沼山開き」が行われます。

神仙沼までは木道が整備されており、6月中旬には雪もなくなり、気軽に散策を楽しむことができるようになります。

共和町の花「ミツガシワ」をはじめとする夏の高山植物や、晚秋の紅葉などを満喫できる、雄大なニセコエリアの山歩きをぜひお楽しみください!

DATA

- 【開催日】6月上旬頃
- 【お問い合わせ】共和町観光協会(事務局:共和町役場 商工観光係) ☎0135-73-2011
- 【URL】<http://www.town.kyowa.hokkaido.jp>



多くの出展者、参加者でにぎわう



福島の元気をみんなで発信

2016ふくしま手づくりマルシェ

ふくしま
福島県福島市
地図 N

「ふくしま手づくりマルシェ」は、みんなが楽しんで作っている手作り品の展示・販売を軸に、「福島の元気」を発信し続けるイベントです。

2013年5月、50店ほどの出店からスタートしました。今回は2日間で、140店を超えるお店が大集合します。コンサートや飲食ブースもあり、毎回1万人以上の方が来場し、賑わっています。

福島内外から手づくり作家のみなさんが集結し、作品の展示販売を行います。作家の皆さんと直接お話しする貴重な機会となりますので、ぜひおこしください。

DATA

- 【開催日】5月21日(土)・22日(日)
- 【会場】あづま総合運動公園
(福島市佐原字神事場1番地)
- 【お問い合わせ】(一社)手づくりマルシェ ☎024-563-3680 [携帯]090-6456-0800
- 【URL】<http://f-tezukuri.jimdo.com/>

DATA

- 【開催日】5月15日(日) 【会場】魚津駅前道路周辺
- 【お問い合わせ】魚津商工会議所内 魚津祭組 ☎0765-22-1200
- 【URL】<http://yoshakoi-chouroku.com/>



第6回 地域再生大賞 優秀賞などを受賞



電源地域情報ひろば

イベント情報



空のようなブルーが一面に広がる

生で見ていただきたい絶景

茨城県ひたちなか市
地図 O

国営ひたち海浜公園、春の風景としておなじみの、幻想的な『ネモフィラ』。

「みはらしの丘」一面で、450万本、約3.5haもの広大なネモフィラの花が広がり、4月下旬から5月中旬にイベント「ネモフィラハーモニー」が開催されます。

アメリカのテレビ局CNNが選んだ「日本の最も美しい場所」31選のひとつに選ばれたことや、楽天トラベルが発表した「2015年ゴールデンウィーク、人気急上昇の旅行先ランキング」で2位にランクインするなど、この時期の絶景として注目を浴びています。

DATA

- 【お問い合わせ】国営ひたち海浜公園 ☎029-265-9001
- 【URL】<http://hitachikaihin.jp/>

魚津が踊り出す!

よっしゃ来い! CHOUROKUまつり

富山県魚津市
地図 P

地方都市には数々の問題や課題があり、先行きに不安を抱える現代。地域住民に元気や活力を持ってもらえるコミュニティが必要です。

そこで魚津祭組が、魚津の魅力を今までにはなかった形で表現、創造し、自らの手で明るい希望の持てる社会を作り上げていく事を目的とし、「よっしゃ来い!! CHOUROKUまつり」を開催します。

伝統的な踊りを現代風にアレンジしたオリジナルダンスを創作し、今年も魚津が踊り出します!!

姫路お城まつりの様子

姫路お城まつりの大パレードと、「しろまるひめ」

世界文化遺産・国宝 姫路城のお祭り 第67回 姫路お城まつり

兵庫県姫路市 地図

「姫路お城まつり」は、戦後間もない昭和23年、廃墟と化した姫路中心部にあって、奇跡的に残った姫路城を戦後復興のシンボルとして、新生姫路市の誕生を目指し、また、市民の心のよりどころとなる祭りとして幕を開けました。昨年は姫路城薪能や市民参加のイベントのほか、姫路城グランドオープンを祝い、真っ白な姫路城とともに子どもたちの記憶に残る楽しいイベントなど盛大に開催されました。今年もキャッチフレーズ『白鷺の新たな歴史を君の手で』に沿った企画が多数開催されます。

DATA

- 【開催日】5月20日(金)~22日(日)
- 【会場】大手前通り、大手前公園、姫路城三の丸広場等の姫路城周辺及び各商店街港
- 【お問合せ】姫路お城まつり奉賛会事務局(姫路市観光振興課内) ☎079-287-3652
- 【URL】<http://www.city.himeji.lg.jp/contents/oshirofes/>

日本三大曳山祭、「日本三大美祭」の「高山祭」

高山の春の訪れを告げる 春の高山祭(山王祭)

岐阜県高山市 地図

日本三大美祭のひとつ「高山祭」とは、高山の人々に大切に守り継がれてきた春の「山王祭」と秋の「八幡祭」、2つの祭を指す総称です。このうち、高山に春の訪れを告げる「山王祭」は、旧高山城下町南半分の氏神様である日枝神社(山王様)の例祭です。

山王祭では国の重要有形民俗文化財に指定されている12台の屋台が登場し、うち3台が驚くほど巧妙な動作を見せる「からくり奉納」を行います。

また、今年度、高山市では市制施行80周年を記念して、4月29・30日に高山祭からくり屋台が一堂に会する『高山祭屋台からくり競演』が開催されます。

DATA

- 【開催日】4月14日(木)・15日(金)
- 【会場】日枝神社周辺(高山市城山156)
- 【お問合せ】(一社)飛驒・高山観光コンベンション協会 ☎0577-36-1011
- 【URL】<http://www.hidatakayama.or.jp/>

川内川河川敷を元気に泳ぐ鯉のぼり 第17回 鯉のぼりフェスティバル

鹿児島県薩摩川内市 地図

春風の中、薩摩川内市を流れる川内川の河川敷で、約170匹のこいのぼりが元気に泳ぎます。

「鯉のぼりフェスティバル」では、毎年「川内川に鯉のぼりを上げる会」が不用になった鯉のぼりを集め、掲げています。

昨年度はステージイベントでの市内高校生のパフォーマンス、太鼓、フラダンス、合唱、手品、舞踊、空手模範演技や、「役所之衆」、「はんや」などの伝統芸能の他、はしご車試乗体験、工作教室、スケッチ大会(参加賞有)、フリーマーケット、テナントの出店等を実施しています。

DATA

- 【開催日】4月29日(金・祝)
- 【会場】薩摩川内市大小路町右岸(太平橋近く)
- 【お問合せ】川内川に鯉のぼりを上げる会 ☎0996-23-3090
- 【URL】<http://www.community.satsumasendai.jp/index.html>

川内川の川岸を泳ぐ鯉のぼり

ステージイベントなど、楽しい企画がたくさん!

月夜の晩のモーアシビー(毛遊び) ムーンライトコンサート

沖縄県北中城村 地図

「ムーンライトコンサート」は、2002年より毎年、梅雨あけの頃に、「大城の地域づくり構想」に基づく、「花と緑に囲まれた芸術の里」づくりの一環として開催されています。

月明かりの下で行われる野外コンサートは、ゆったりと心地よい時間を過ごす人、モーアシビー(野外パーティ)を楽しむ人など、子供から大人まで楽しめます。

駐車場から会場までは、ランや色とりどりの花に陶芸品、様々な表情のシーサーを見る事ができ、北中城村大城地区の魅力を感じることができます。

DATA

- 【開催日】7月初旬の週末
- 【会場】大城公民館隣 多目的広場(北中城村字大城86番地)
- 【お問合せ】大城公民館 ☎098-935-1311
実行委員長 新垣(携帯)090-1944-6103
- 【URL】<https://kitapo.jp/>

月明かりの野外コンサート

大城地区では、シーサーなどのアート作品を多数設置

掲載のご希望がございましたら、電気のふるさと編集室(☎03-6372-7305
E-mail : furusato@dengen.or.jp)までお知らせください。
掲載費用が発生することはありません。(編集の都合上、掲載できない場合がございますことを予めご了解願います)

13 電気のふるさと Vol.43

センター掲示板



第45回電源地域 担当者講習会を開催しました

平成28年1月22日（金）の午前9時50分から午後3時まで、東京・築地の「全国情報サービス産業厚生年金会館（JJK会館）2階の多目的ホールで第45回電源地域振興担当者講習会を開催しました。

この講習会は当センターが主催で開催しており、毎回、全国の電源立地市町村をはじめ、地域振興に関する皆様にご参加いただいています。

国の諸政策や専門家による講演、事例発表など、地域振興関連の諸情報を得ることができますと、毎回ご好評いただいており

ます。今回の講習会では、経済産業省の地域経済産業政策課から「平成28年度まち・ひと・しごと創生関連事業」、資源エネルギー庁電力基盤整備課から「原子力立地地域への支援について」のご説明をいただきました。

また、三菱総合研究所の平石和昭政策公共部門副部

門長から「地方創生の『攻め』と『守り』～日本の成長は地方創生から始まる～」と題した基調講演をしていただきました。

その中で平石氏は、地方創生においては地域コミュニティにおける住民が異質性・多様性を包み込み、信頼関係や互恵関係のネットワーク化、即ち、社会関係資本を豊かにする必要性があることを強調しました。

玄海町は昨年度「ふるさとチヨイス」というふるさと納税のサイトで、平成25年から27年にかけて約17億円の寄附を集めています。

全国の注目を集めています。事例発表を聞いた参加者から、様々質問があり、極めて有意義な講習会となりました。

【お問合せ】

地域振興部 振興業務課

☎ 03-6372-7305

eメール : soumu@dengen.or.jp



竹田市と田辺市で一地元開催型 産品相談・商談会を開催しました

平成27年11月16日（月）・17日（火）に、大分県竹田市において竹田商工会議所主催で、講演会と市内の店舗視察、相談・商談会の開催といった盛りだくさんの内容の「地元開催型産品相談・商談会」を開催しました。



竹田市の「产品相談・商談会」



竹田市のイオン九州(株) 産地開発部 立石弘司氏の講演



田辺市の「产品相談・商談会」



田辺市の現地調査

翌17日の「产品相談・商談会」では、2名のアドバイザーから10の参加事業者に対し、様々なアドバイスが送られました。

平成27年11月26日（木）・27日（金）には、和歌山県田辺市においても、田辺周辺広域市町村圏



[左上] 経済産業省 地域経済産業政策課の課長補佐 河地俊彦氏
[右上] 資源エネルギー庁 電力基盤整備課の課長補佐 森本将史氏
[左下] 三菱総合研究所の政策公共部門副部門長 平石和昭氏
[右下] 玄海町の吉森祐優樹氏

人たと協働して、地域個性に基づいた地域資源や郷土愛を大切にしながら、様々な分野や業種の人たちを創り出す

組合の主催で「地元開催型産品相談・商談会」を開催しました。

参加団体は田辺市、みなべ町、

白浜町の12事業者で、3人のア

ドバイザーから様々なアドバイ

スをいただきました。

この「地元開催型産品相談・

商談会」は、アドバイザーが実

際に電源市町村に出向いて実施

するオーダーメイド型の「相談・

商談会」です。地元で実施する

ことで、参加者の時間的・経済

的負担が軽減されることや、現

地訪問によりバイヤーの地域へ

の認知度が向上し、実施後もバ

イヤーと相談・商談しやすい関

係の継続が期待できます。

今回の田辺市における開催で
も、アドバイザーが現地の商品
販売施設や地元の産業施設の視

察を行い、その上で様々な商品

のアドバイスをされていました。

アドバイザーの感想として、
完成度の高い商品もあり、この
地域の商材に魅力を感じるので
「催事に出展してみたらどうか」、
「梅」を軸に、この地域全体で
盛り上げていってほしい」など
の意見が寄せられました。

【お問い合わせ】
地域振興部 振興業務課
☎ 03-6372-7305
eメール : hanbai@dengen.

研修事業 No6とNo7を開催しました



News

平成28年1月28日(木)・29日
(金)に、電地域振興センター会
議室において、研修No.6 「農業
で地域を元気に 地域農業の活
性化策を学ぶ」が開催されま
した。28日は、宮城大学名誉教
授の大泉一貫氏から「農業を成
長産業にするために」と題した
基調講演があり、その後2例の
事例紹介がありました。

最初に、兵庫県養父市から、
『国家戦略特区と地方創生』と
小さなまちの大きな挑戦」と題
して兵庫県養父市企画総務部
国家戦略特区・地方創生課課長
の谷徳充氏が、次に「農業は魅
力ある職業『かみなか農楽舎』

翌29日は、株式会社農業技術
通信社代表取締役・月刊『農業
経営者』編集長の昆吉則氏による
「水田でどうもろこしおよここ
し生産が日本の農業を変える
(農業・農村は宝の山)」と自治
体職員として今知つておくべき
こと』と題した講演が行われ、
その後、昆氏と参加者によるト

ークセッションが行われました。

平成28年2月18日(木)・19日
(金)の両日は、研修No.7「地域
資源を活用した地域ブランドづ
くりを学ぶ」が電源地域振興セ
ンター会議室で開催されました。

18日は、東京富士大学経営学
部教授の岡星竜美氏による「大

公開! 地域ブランドづくりに使
えるイベント道具箱」と題する
基調講演が行われました。その
後、参加者によるワークショッ
プが行われました。

19日は、事例として「若者×

集落deまちが変わる」自治体
のサポート体制が重要なカギ!

」と題した農家民宿「古民家
こずえ」の女将・梢正美氏と、
岐阜県御嵩町役場の元まちづく
り課の栗谷本真氏から「『手作
りの景観修景』と『交流イベン

ト』による宿場町の活性化~自
信と誇りの持てるまちづくりを
目指して~」と題する発表があ
りました。

【お問い合わせ】
地域振興部 振興業務課
☎ 03-6372-7305
eメール : kensyuu@dengen.
or.jp

【上】東京富士大学 経営学部教授 岡星竜美氏
【左下】「古民家こずえ」の女将・梢正美氏
【右下】御嵩町役場の元まちづくり課の栗谷本真氏

平成28年度 専門家派遣事業の ご案内



Information
平成28年度
専門家派遣事業の
ご案内

この事業は、電源地域が抱え
る様々な課題を解決するために、
専門家を地域に派遣し指導する

ことにより、政策立案や実施体
制の構築に向けた支援を行い、
地域の振興発展・地域住民の福
祉の向上に寄与することを目的

にしています。

本年度の事業採択件数は25件
程度を予定しており、お申込み

方法等につきましては当センタ
ーのホームページに記載してい

ますので、ご覧ください。



天笠 亜佑子さん

KEY PERSON

產品開発の基本的な視点とは



本年度から、各方面で活躍する「まちづくりのKEY PERSON」に地域活性化の視点をお聞きしています。今回は、株高島屋でグローサリーのバイヤーをしておられるMD本部リビング＆フードディビジョン・バイヤーの天笠さんに、產品開発や販路開拓などについてお聞きしました。

どんな人にどんな商品を提供するか

全国で地域產品の開発が盛んです。皆さん自慢の「美味しいもの」が作られていますが、ただ「美味しい」というだけでは、消費者が手に取るまでにはいきません。

商品を提供するということは、「思い込み」ではなく、消費者に美味しさの理由を説明できるということが大切です。それが、商品の背景にある「ストーリー」ということです。

「このような地域で、このような人たちが、想いを込めて開発した商品です。だから美味しいのです」という説明が必要となります。それが他の商品との差別化ということになるわけです。

また、マーケット全体を見て、商品を開発することも重要です。例えば「女性」をターゲットにお弁当を開発しようとするとき。量を少なくして多くの素材を使ったものが女性に好まれるということで、見た目が綺麗で少量多品種のお弁当を、開発される場合が多いようです。

しかし、女性の中にも、ガツツリと食べたい人もいます。そうした人たちのニーズもあるのです。単に「女性向け」というだけでは商品になりません。多様化の時代なのです。

従って、商品開発や販路開拓では、「どんな人に、どんな商品を提供するのか」という基本的な視点が、とても重要となってきます。それが「マーケット・イン」という発想です。

当社のバイヤーが担当した、こんな例がありました。

ある地方都市の產品開発業者から、ガンジー種の乳牛から採れる高品質の牛乳を1ℓパック700円という、一般の牛乳より格段高い値段で売りたいというご相談がありました。そこで、500mlの樹脂ボトルにすることで、手に取りやすい容量と、高級感あるパッケージで500円にすることを提案させていただきました。つまり、「価格より価値」に基づくお客様をターゲットにしたわけです。そうしたところ、私たちのグローサリー売場で定番として売れている商品になりました。

様々な人々の意見を聞くことの大しさ

電源地域振興センターさんをはじめ、地方銀行や商工会などで開催している「產品相談・商談会」に参加して、自らの商品を検証することも大事です。

バイヤーとして、私も何度も参加させていただき、商品の成分表示の不備などの基本的なことから、販路開拓などのアドバイスをさせていただいている。

私のところには、自治体や商工会、地方銀行などから、一年で最低数百件の問い合わせがあります。「こだわりの商品」であれば、積極的にご相談に応じております。

百貨店は、店頭販売、インターネット通販から、ギフトカタログま

で、様々な販売チャネルを持っています。また、各地域に店舗を持っていますが、私ども高島屋・全17店舗でも、地域によって売れるものが違います。

外国の方が多く訪れる店、日常品を求める方の多い店、来店される方の年齢層など、高島屋だけでも、それぞれの店に違いがあります。他の百貨店も同じことが言えます。

その意味では、「產品相談・商談会」などで、様々なバイヤーの意見を聞き、参考にしていただくことをお奨めします。さらに、試験販売や催事での販売で、直接お客様の意見を聞くことも、大事になってきます。

誰でも「土俵」にあがることは可能です。その上で、より多くの人々の意見を聞き、「改良」を重ねていく作業によって、「幕内」「三役」と上がっていくのだと思います。

ひとつ言えるのは、これからの商品開発のキーワードは「健康」です。「健康寿命」を重視するライフスタイルが多くなっている中、提案次第では、ヒット商品が多く産まれてくるのではないかと思っています。

私どもは、お客様が楽しそうにショッピングする姿を見ることが、モチベーションになっています。皆様も、そうしたお客様の姿を想像していただきながら、產品開発や販路開拓に携わると、より良い產品づくりとなるのではないかでしょうか。(談)



平成27年度に香川県丸亀市で行われた「地元開催型 相談・商談会」

略歴

株式会社高島屋 MD本部 リビング＆フードディビジョン課長・バイヤー
平成15年、高島屋入社。日本橋店 玩具売場に勤務
平成18年より、日本橋店 食料品売場に勤務
平成25年、MD本部リビング＆フードDV本部に異動。デイリーマート担当